

公益財団法人ダイオーズ記念財団「奨学生の集い」



参加者全員の写真

12月17日(日)10:00～12:00まで、三ノ輪の株式会社ダイオーズビル本館3階で「奨学生の集い」を開催致しました。

現在、当財団の奨学生在籍者は40名で、その内23名が来年3月で卒業されます。皆さん、7月に集まって以来でしたので開催前に近況報告を楽しそうに話していました。

今回のプログラム

- * 事務局より挨拶、連絡事項等
- * ダイオーズ記念財団の活動報告(奨学事業、助成事業の2023年度、2024年度)
- * 卒業する奨学生のスピーチ 内容(学生時代に学んだ事、今後の進路、夢、目標)
- * グループディスカッション→発表 テーマ(就職先を選択した理由、就職先に望む事)
- * 全員で写真撮影

助成している団体のテーマ、研究調査などの報告をした際、奨学生の中にも同様な取り組みをされている方がいて共感されていたのが印象的でした。

卒業生のスピーチでは奨学生の皆さんから、ダイオーズ記念財団へ感謝の気持ちを表していました。

就職される方、進学される方それぞれ高い志と目標、夢を発表されていました。

ディスカッションでは5～6名でテーマディスカッションしていただきましたが、皆さん明るく元気で楽しく、真剣に取り組んでいました。発表された方も、分かり易く、しっかりまとめられていました。



卒業生の皆さん

「奨学生の集い」の感想コメント

H 大学大学院 修士2年より

多くの方々の発表をお伺いした、一緒に議論させていただくことができ、とても楽しかったです。特に中国や韓国の留学生の方々が流ちょうに日本語を話される姿には、大変刺激を受けました。これほどまで多くの分野で活躍される方々のお話をお伺いできる機会はなかなかないので、とても良い経験になりました。

財団活動報告のコメント

S 大学 学士4年 留学生より

ダイオーズ記念財団の活動報告を通してある企業がどのように教育に貢献できるのかそしてどのように社会に貢献できる人材育成に貢献できるのかを学べる時間となりました。障害者の働きやすい職場環境をテーマとする研究や社内通報者を守る制度をテーマとする研究など社会を革命的に変えていく様々な研究を支援するダイオーズ記念財団の偉大な活動に感銘を受けました。



卒業生のコメント

T 大学大学院 修士2年 留学生

2年間、サポートしてくださって、心より感謝しております。優秀な方に出会ったのは何よりだと感じました。この前の集いで仲良くなりました友達といろいろ進路などに関して話しました。そろそろ卒業しますが、この縁があるからまたみんなどこかで会えると信じています。





卒業生のコメントを聞いて

A 大学 学士2年 留学生

奨学生たちがそれぞれの抱負を発表する場面では、その情熱と意欲に満ちた言葉に胸が熱くなりました。誰もが自身の奨学金を有効に活用し、将来のキャリアや社会への貢献に向けて具体的な計画を描いていることが伝わってきました。





グループディスカッションのコメント

K大学 学士4年 留学生

就職というテーマをディスカッションして、皆さんは積極的に話したり、自分の経験をシェアしたりして、確かにそうだなという思いがありました。また、他のグループの意見から自分も考えられなかったことがあって、将来に役に立つことだと思います。